

上毛龍神太鼓 [2年目]



子どもたちの実演も交えて発表。和太鼓を通して地域に元気と活力を生むことを目的に、町内外のイベントで活動しました。他団体のイベントにも参加することで、少しでも懐旧館(中央公民館支館)の利用増を目指しました。古賀さんからは、多忙な活動について、無理なく続けるようにアドバイスがありました。

こうげ音楽倶楽部 [2年目]



音楽の趣味や特技を活かして町内イベントや自主企画で演奏し、子どもの情操教育につなげたり、町のPRを行いました。ステージでは、演奏も披露され、他団体との共演や、著名人を招いたイベントなどに、これからのひろがりを期待する声も寄せられました。
※活動の様子は、本誌巻頭の特集でも紹介しています。

老人料理クラブ [3年目]



おそろいのエプロンで発表。家に閉じこもりがちな高齢者の、食を通じた世代間交流を図ろうと、地域の食材などを使った昼食作りを月1回行いました。これからも活動は続けていくそうです。古賀さんからは、楽しみながら参加していることや、地域の料理講師を入れていること、ほぼ会費でまかない、補助金終了後も考えていることなどが評価され、今後の期待されます。

原井婦人会 [2年目]



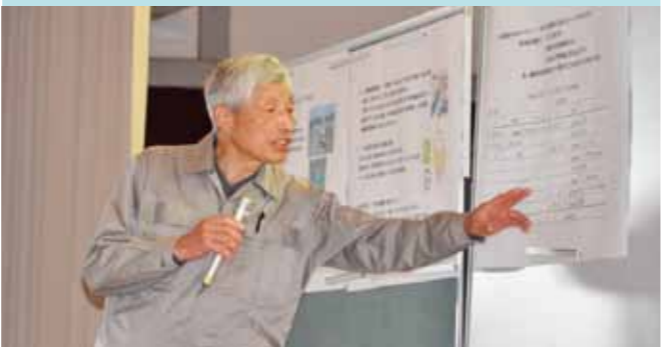
地域の力を高める、活気ある活動にしていこうと、特産品加工や、地域の史跡・文化の維持管理、環境美化などに取り組みました。審査員からは、多様な活動を評価するとともに、加工品の梅ドレッシングが増産可能かなど聞かれました。そろいのエプロンからは、楽しそうな活動の雰囲気伝わってきました。

成恒子供神楽 [2年目]



地域の伝統文化である神楽に親しみながら、自分を磨くことと、伝統芸能の継承に努めてきました。今年度は新しい演目の習得や、年間100本舞うことを目標に掲げました。今後の自主運営に見通しがついたことにより、3年目の補助は受けずに活動を続けるそうです。近年、豊前神楽が注目を集めていることもあり、今後の活躍に期待する声も聞かれました。

コスモちよぼら会 [3年目]



町内清掃を第1・第3金曜日に実施。今後は町内のまだ行っていない地域へも意欲を燃やしています。会員を増やすことが課題とのことでした。審査員からは、今後のビジョンがあり、子どもたちへの啓発も行っている点が評価されました。

地域づくり活動事業成果発表会

～ひろがる活動 無理なく楽しく続けよう～

3月13日(日)、平成27年度の地域づくり活動事業成果発表会が懐旧館(中央公民館支館)で開催されました。一年間の活動内容と成果を発表するほか、翌年度も引き続き町の補助を希望する団体の審査も兼ねて行われるもので、今回は7団体から発表がありました。

審査員には、みなさんお馴染みの、ふくおかNPOセンター理事長古賀桃子さんを今年もお招きしたほか、地域づくり協議会役員、地域づくり活動団体代表者、副町長、企画情報課長など16名の方にお呼びしました。

発表は、活動3年目の「老人料理クラブ」から始まり、昼食をはさんで午後1時過ぎには全ての発表が終わりました。審査の結果、平成28年度も補助の継続を希望する3団体の活動計画は全て承認されました。

山下朗地域づくり協議会会長は「今日の発表の方が、普段の活動よりもエネルギーを使ったのではないかとというくらい力が入った発表だった。発表は活動を皆さんに知ってもらうための大切なプロセス。自立していく団体もあり素晴らしいこと。これからも横の繋がりをもって活動してほしい」と熱のこもった発表を称えました。

古賀さんは、キーワードに「ひろがり」を挙げられ、町内外、団体間など、活躍の中心・内容がひろがっていることにこれからの継続性を期待されました。また今後について、無理なく楽しく活動することを心がけてくださいと締めくくりました。

平成28年度には9年目を迎えようとする地域づくり活動ですが、ますます盛んになることが期待されます。



■ 山下地域づくり協議会会長



■ 古賀桃子さん



■ 安元審査員



■ 審査結果を発表する今任前副町長



こうげつむぎての会 [1年目]



上毛の農産物や野草を使った特産品の開発と試作・試験販売を目指して、イベントでのふるまい料理の提供や、町内外の方を対象とした野草イベントの開催に取り組みできました。残念ながら都合により今年で活動は休止しますが、会場からはこれまでのノウハウを活かした活動を期待する声が聞かれました。



■ 昼食には、ゆいきららさんから3色塩むすび、鹿肉の竜田揚げ、豚汁、漬物を、デザートには原井婦人会さん手作りの桜餅とケーキを添えていただきました。また会場には多数の役場職員が参加し、受付やステージの補助、昼食準備などに協力しました。